

地域問題特論 I

担当者 石川 雄一

開講時期 後期 単 位 1

●講義の概要

本講義では、地理学的な側面から地図（GIS）や小地域統計を活用した空間分析をベースに現代都市の課題を講義する。現在の日本は、人口減少社会に突入し、加えて少子高齢化の課題を抱えている。これらの現象は地域によって大きく異なっており、東京一極集中が進展するなかで、地方においてはより深刻な課題となっている。本講義では、こうした現象下における大都市圏に発生している課題と、地方都市に発生している課題を整理し、課題を分析し、課題解決の方策についても検討する。

●講義の到達目標

- ① 大都市圏と地方都市の空間構造の特性を理解する。
- ② 人口分布並びに少子高齢化の進展と空間構造の変化の特性を理解する。
- ③ 地図や小地域統計の活用法を学び、地域の問題を発見する。
- ④ 課題解決方法を考える。

上記の4点の理解にむけて講義を進めます。

●講義計画

第1回：地域とは、地域の概念

第2回：都市圏の構造と都市圏構造の変化

第3回：都市空間構造研究へのGISの活用

第4回：データマップから見えてくる地方都市における小売業立地の変化

第5回：コンパクトシティ：少子高齢化社会と公共交通を活かしたまちづくり

第6回：緑辺地域の課題：離島地域と都市との交流に関する課題

●成績評価基準と方法

授業への積極度：25%、

レポート：60%、

議論の内容や水準：15%。

※授業への参加度は、授業中の発言や質問への応答の程度で評価します。

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕なし

〔参考文献〕授業時に指示します。

●受講上の留意点

授業は、後期に不定期で6回実施します。2回目以降の日程については初回の講義時に調整します。